

平素は弊社商品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

この設定変更は内税部門から外税部門へ変更する操作方法を記載してあります。

お店の運用を内税登録から外税登録に変更する際はお客様ご自身にて設定変更していただくようご案内申し上げます。

尚、レジスターの『取扱説明書』にも本内容はすべて記載されていますので併せてご参照下さい。

## 【 設定変更の流れ 】

1. 鍵位置<精算>で“精算”を行います。（累計精算も併せて行う事をご推奨します）
2. 鍵位置<設定>で下記，設定変更を行います。

①部門の税区分を変更します。（内税→外税に変更します。）

②システムオプションを変更します。（外税データの印字選択）

・レシート上の外税対象額・外税を印字に選択します。

③PLUの単価を変更します。（税込み価格→税抜き価格に変更します。）

④レシート上の税区分シンボルマーク（非，外，内）の印字選択をします。

⑤レポート印字項目の確認

※マスターサテライトシステムの場合

## 【設定操作時の注意事項】

- 鍵位置<設定>では下記キーボード配列となりますのでご注意ください。

### <MA-1955の場合>

MAタイプ設定用キー配列

レシート 送り	替	オープン	標準	横倍	A	B	C	D	E	F
レシート 発行停止	一括 取消	レシート 確認	コメント	戻						
					カード 宣言					
#/現	取消	C	万券							
部門#	7	8	9							
×	4	5	6							
金額	1	2	3							
PLU	0	00	・	預/現計	小計	掛計	信計			

### <FS-1955の場合>

FSタイプ設定用キー配列

領収証	レシート 送り	替	#/現	反転	
戻	A	B	C	標準	
一括 取消	D	E	F	横倍	
取消	C	万券	カナ 小文字		
×	7	8	9	カード 宣言	
部門 #	4	5	6	信計	掛計
金額	1	2	3	小計	
PLU	0	00	・	預/現計	

・ 鍵位置<設定>の設定操作時のキーボードは上記配列となります。

・ キー配列中の **A** ~ **F** は文字コードの入力で使用します。

## MA / FS - 1955 シリーズ

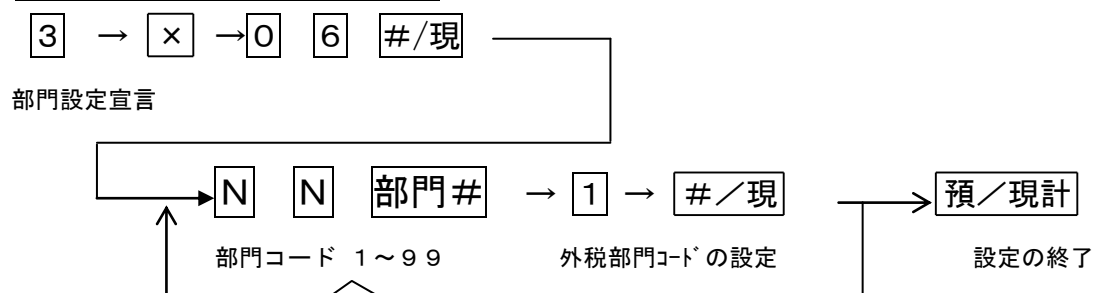
該当機種	MA - 1955    FS - 1955
------	------------------------

## 内税部門を外税部門に変更する設定操作

<使用する鍵>MAキー、<鍵の位置>設定

<精算>後ならば下記設定は行えますが、確認の意味で鍵位置<設定>で 9 小計 の操作をしてから設定変更を行ってください。

## ①部門の税区分を変更します。



NN は部門番号で数字キーを押します。  
部門 1 なら "0 1", 部門 2 なら "0 2"  
と押します。これを繰り返します

(注) 1. 内税部門、非課税部門にしたい場合は

下記コードを登録します

内税部門の場合 ( 2 → #/現 ) と押します。

非課税部門の場合 ( 5 → #/現 ) と押します。

最後に設定した税区分が有効となります。

(注) 2. マスター/サテライトシステムの場合はマスター機の RTR キーを押してから操作します。

## ②システムオプションを変更します。

レシート上の外税売上対象額・外税額の印字する場合に設定変更します。

[レシートサンプル]

部門01	¥1,000
部門02	¥2,000
部門03	¥5,000内
小 計	¥8,000
外税売	¥3,000
外 税	¥150
現金 合計	¥8,150

<設定操作>

1 8 × 9 小計 2 4 6 7 #/現 預/現計

設定宣言      アドレスNO      選択した項目 NO (ご推奨)

＜システムオプションの内容＞

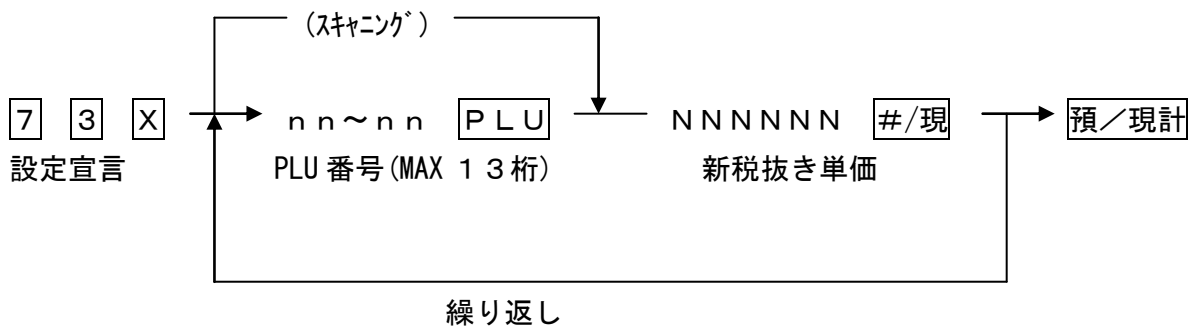
アドレス NO	項目 NO	オプションの内容	項目NOを 選択しない	項目NOを 選択する
9	2	税ステータス	内税	＜外税＞
	3	外税端数処理切り上げ	＜四捨五入＞	切り上げ
	4	外税端数処理切捨て	四捨五入	＜切捨て＞
	6	合計印字前の外税課税対象額印字	無印字	＜印字＞
	7	合計印字前の外税印字	無印字	＜印字＞
13	3	合計印字後の税合計印字	＜無印字＞	印字

③ P L U の単価を変更します。

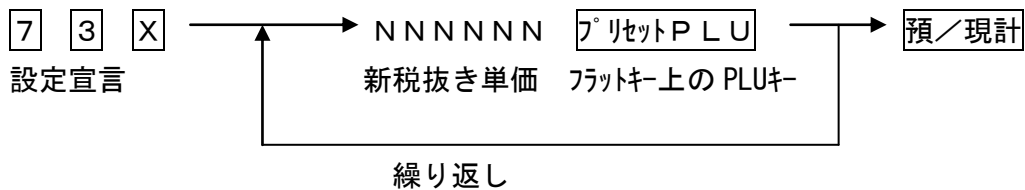
（マスター/サテライトシステムを使用時は **RTR** キーを押し下げます）

各 P L U の設定単価を税込み価格から税抜き価格へ変更します。

【設定操作】 鍵位置＜設定＞ [マスター/サテライトシステムのマスター機は **RTR** キーを押下げます]



●＜FS-1955でフラットキーボードにPLUをセットしている場合＞



- （注） 1. 特売機能やM&M機能をご使用の場合は、P L U の単価変更に伴い、それぞれの特売単価やM&M価格の見直しが必要となります。
2. マスター／サテライトシステム機はマスター機でP L U 単価変更を行い、**預／現計** 操作で各サテライトレジへ変更データを自動送信します。

#### ④ レシート上の税区分シンボルマークの変更ができます。

部門01	¥1,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

#### 【設定操作例】 鍵位置<設定>

非課税:「非」、外税:「(空白)」, 内税:「内」を設定する場合

1 0 X 1 1 小計 9 4 F 1 #/現 8 1 4 0 #/現  
 「非」の漢字コード 「(空欄)」コード  
 9 3 E 0 #/現 小計 預/現計  
 「内」の漢字コード

注意 1. 漢字文字コードの[A]~[F]は設定キーボード上の[A]~[F]を使用します。

2. 「非」・「外」・「内」のシンボルマークは漢字1文字設定できます。この順番で設定します

#### ⑤ レポート印字項目の設定

精算レポートに外税データを印字するように設定します。

2 8 X 8 3 小計 0 #/現  
 設定宣言 外税対象額のコード 印字コード  
 8 4 小計 0 #/現 預/現計  
 外税額のコード 印字コード

(注) 印字コードに 0 をセットするとレポート上に印字します。

印字コードに 1 をセットすると無印字となります。

## 【マスター／サテライトシステムで運用時の設定変更】

マスター機で前記の設定変更を終了したら、サテライト機に設定を送信します。

### 【変更データの送信（D L L）】

1. 各サテライトレジスターで下記操作します。

鍵位置<設定>    9    小計

2. マスター機で下記操作します。

① R T R キーを押します

② 5 0 3 預／現計

サテライト機に設定を送信しています。表示のR T Rが点滅します。  
完了すると点滅は終了し、レシート発行します。

③ 5 1 0 預／現計

サテライト機に設定を送信しています。表示のR T Rが点滅します。  
完了すると点滅は終了し、レシート発行します

④ 5 1 1 預／現計

サテライト機に設定を送信しています。表示のR T Rが点滅します。  
完了すると点滅は終了し、レシート発行します

⑤ 5 2 8 預／現計

サテライト機に設定を送信しています。表示のR T Rが点滅します。  
完了すると点滅は終了し、レシート発行します。

⑥ R T R キーを再度押し下げて解除します。

(注) サテライト機へのデータ送信でサテライト機の電源が切れていたなど障害があった場合には、手動でデータ送信のリトライ・中止を行う事もできます。

リトライ: 預／現計 押し下げ

中 止: 替 押し下げ

中止時は障害復旧後、再度送信ください。